

タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2016 助成の概要と推薦理由

助成番号 16-3-1

プロジェクト名 医療的ケアの必要な子どもたちの可能性は無限大
～地域啓発に向けた広報ツールの作成と活用(3)～
団体名 バクバクの会
代表者名 大塚 孝司
所在地 大阪府
助成額 200万円
助成期間 2017年9月1日～2018年8月31日
設立年 1989年
U R L <http://www.bakubaku.org/>



医療的ケアの必要な子どもたちは、退院しても地域社会とつながるきっかけがなく、孤立している親子も多い。しかし適切な社会的支援を受けることで、地域の子もたちと同じように保育園や学校に通い、豊かな経験を積み重ねながら、毎日の生活を育むことができる。

この団体は、人工呼吸器もしくは同程度のケアを必要としている子どもたちが入院生活や在宅生活を豊かに過ごすことができるよう、相談・支援業務や情報提供、また全国ネットワーク組織としての強みを活かしながら社会的理解を促進するための啓発活動に取り組んでいる。

初年度の助成では、人工呼吸器をつけながら、親の付き添いなしに保育園や学校に通っている子どもたちや、一人暮らしをしながら自立した生活を送っている成人のケースを紹介するDVDを作成した。そして2年目には全国5か所（広島、大阪、東京、滋賀、愛知）の支部が中心となってDVD上映会と講演会を開催し、市民への理解を進めるとともに、多くの関係機関とのつながりを作ることができた。また学校関係者や福祉関係施設等からの上映希望の問い合わせも増えるなど、着実に全国的な拡がりを見せている。

今回は3年目の助成にあたるが、2年目の上映会の経験を活かし、中小規模の支部10か所（秋田、新潟、山梨、栃木、静岡、京都、兵庫、岡山、熊本、高知）による上映会及び懇談会を開催する。医療的ケアの必要な子どもたちが支援者とともに安心して過ごすことができるよう、地域で孤立している当事者とその家族の掘り起こしをはかり、地域ごとの支援体制の強化を目指す。さらにこれまで取り組んできた上映会のノウハウを盛り込んだ小冊子を編集・発行し、誰もが、それぞれの場所で上映会を開催できるツールとして活用していく。

本助成を通じて、多くの理解者や支援者を獲得しながら活動を展開し、また各支部が上映会を通して体制が強化され、ネットワーク組織としての発信力が高まることを期待して助成する。